

観光資源を活用し、新市北部への交流人口増大を図りたい。

お客様センター設置で水道サービスを向上

水道局の組織・機構を見直す、サービス向上策は。

お客様センターを新設し、営業所や工事センターへの開閉栓等の届け出等を一カ所にまとめて業務の効率化を図るとともに、午後六時までの受付時間の延長とワンストップサービスの提供を行う。営業所は廃止するが、水道管の維持管理等を行う水道センターに新たに料金窓口を確保する。

中央卸売市場
消費者モニター制度を導入

市中央卸売市場の活性化に向け、市民・消費者ニーズの把握策は。

平成19年度から、公募市民による消費者モニター制度を設け、青果・水産物・花きの各部門に配置する。市場の視察、食育教室、市場感謝デー等への参加やアンケート調査への協力など、市民・消費者の立場から意見や提言をもち出す予定だ。

市民病院の建て替え
提言を受けてさらに検討

市民病院あり方検討委員会の提言を受けて、市民病院を建て替える考えは。

提言では、公的な役割を果たす医療の提供と市民負担の抑制を条件に建て替えるとした上で、診療科目・規模等は専門家による別機関で検証すべきとしている。現在、この別機関の体制や進め方につ

いて研究している。今後、提言を踏まえ、どのような選択が市民にとって最良であるのか、さらに時間をかけて検討したい。

無所属市民の会



将来の市民病院のあるべき姿を探る(市民病院あり方検討委員会)

環境美化条例の全部改正でより快適な生活環境を

環境美化条例を全面的に改正し過料制度を導入する予定だが、現行条例を十分に運用したとは言いがたいのでは。

啓発グッズの配布や新聞広告等による啓発活動、清掃活動などにより一定の効果はあったが、単発的な取り組みになっており、すべての市民に美化意識が浸透しているとは言えない。改正後は、より効果的で継続的な啓発活動、美化活動を推進したい。

妹尾の大型遊戯施設
地元同意で開発を許可

地元住民が反対する中、市内妹尾に大型遊戯施設の開発を許可した理由は。

当初、周辺町内会すべての同意があったため、総合政策審議会に諮り法的手続きを終了した。その後、さまざまな異論等があり慎重に審査を進めたが、事業者の管理・運

管方針などから青少年健全育成への対策が取られていることや、騒音等の影響を直接受ける町内会を含む過半の町内会が協力的であることから、地元同意があると判断した。

DV被害者の自立に向け民間団体を支援

「DV被害者民間シェルター運営支援事業補助金」が予算化されたが、自立支援の必要経費に対する補助は。

民間団体と連携して被害者の自立に向けた支援を充実することが必要であるため、補助の対象にはシェルターとして利用する建物の賃借料のほか、転居費用や光熱水費、生活用品の購入費、民間団体が訪問支援するための経費など、自立支援をサポートするための経費を含めて助成する。

新たなコンベンションビ
ューローを早期に立ち上げ、本格的な誘致活動を推進して

政隆会

政令市移行実現に向けて

平成21年度の政令市移行実現に向けた思いと決意は。

持続的・安定的な市民サービス

サービスの提供と行政基盤の強化のため有効な手段であると確信する。与えられる権限・財源を有効に活用し、水と緑が魅せる心豊かな庭園都市の実現を図るとともに、中四国地域における総合福祉の拠点都市としての位置付けを明確にすることで、全国に自慢できる岡山市の創出を目指したい。そのためにも、19年度には県からの権限移譲や行政区の在り方などについて、市民に示す必要があると考える。

コンベンション誘致活動
検討委員会を設置

コンベンションの誘致は地域の活性化、観光振興の拡大等につながるが、岡山の優れた特性・都市資源を生かした戦略的な誘致活動を行うためには官民協働が不可欠だ。

平成19年4月に設置予定の検討委員会では、早期設立に向け、県や商工会議所、宿泊・飲食・土産物等の観光関連団体、さらには大学・医療関係団体等の幅広い意見を取り入